

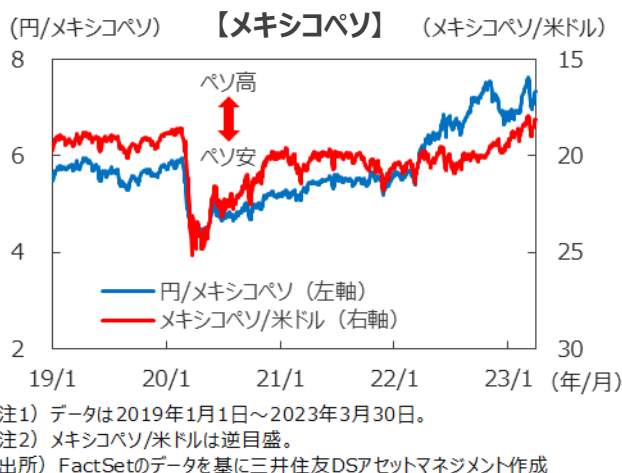
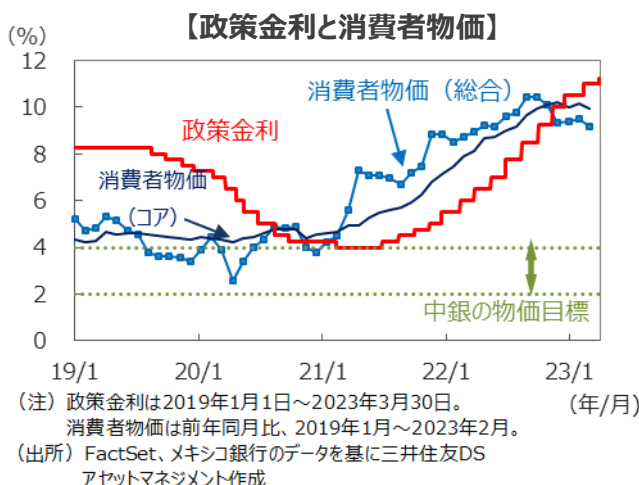
今日のトピック **メキシコ中銀は利上げ幅を0.25%に縮小 インフレの減速で利上げペースを圧縮**

ポイント1 政策金利は11.25%に

- メキシコ銀行（中央銀行、中銀）は3月30日に金融政策決定会合を開き、政策金利を11%から11.25%に引き上げました。
- 前回会合では米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ幅の倍にあたる0.5%の利上げを実施しましたが、今回は利上げペースを0.25%に緩めてFRBに追随した格好です。

ポイント2 インフレの減速で利上げペースを圧縮

- メキシコの2月の消費者物価指数（CPI）は農産物価格の下落を主因に前年同月比+7.62%にとどまり、大方の予想に反して前月の同+7.91%から減速しました。また、変動の大きい食品やエネルギーを除いたコアCPIも同+8.29%となり、前月の同+8.45%から伸びが鈍化しました。
- 粘着性の高いコア・インフレの高止まりへの警戒感が残るものの、食品やエネルギー価格の下落から今後もインフレの減速が見込まれるため、中銀は利上げペースの圧縮に踏み切ったものと思われます。



今後の展開 **高金利維持でペソは当面堅調推移、波乱要因は米金融政策**

- インフレの減速基調が確認されたこともあり、メキシコの利上げは今回が最後か、あと1回0.25%の利上げで打ち止めとなりそうです。とはいえ、メキシコの政策金利は既にインフレ率を大きく上回る水準まで引き上げられており、現状水準が維持されるだけでも通貨ペソにとっては追い風となりそうです。ペソについては1米ドル＝19ペソを中心とした堅調推移を予想していますが、FRBが今年夏以降に利下げに踏み切るようなことがあれば、両国の金融政策の乖離が顕著になることで、ペソ買いが優勢となる局面もあるものと予想しています。

ここもチェック! 2023年 2月10日 **メキシコ中銀は0.5%の利上げを継続**
2022年12月16日 **メキシコ中銀も0.5%に利上げペースを減速**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。